

様式第5号（第2条関係）

平成22年4月27日

大崎市議会議長 三神祐司様

会派等名 大崎ニューネット

代表者名 会長 佐藤和好

印

平成22年度政務調査費収支報告について

大崎市議会政務調査費の交付に関する条例第8条の規定に基づき、別紙のとおり政務調査費収支報告書を提出します。



(別紙)

平成22年度政務調査費收支報告書

会派等名 大崎ニューネット

1 収入

政務調査費 700,000 円(会派の異動により20,000円返還)

2 支出

科 目	金 額(円)	備 考
研究研修費		
調査旅費	412,018	静岡県伊東市・神奈川県小田原市・東京都稲城市の視察旅費
資料作成費		
資料購入費	42,200	『平成22年度 自治六法』等
広報費	245,782	会派広報誌の印刷代
公聴費		
人件費		
事務所費		
その他の経費		
合 計	700,000	

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額

0 円

様式第2号（第4条関係）

出 納 簿

(大崎ニューネット)

月 日	摘要	収入金額	支出金額	差引残高
6月30日	平成22年度交付金	720,000		720,000
8月16日	預金利子	18		720,018
11月9日 ～11日	調査旅費		412,018	308,000
12月17日	資料購入費		42,200	265,800
1月13日	会派異動による返還金		20,000	245,800
1月30日	広報費		245,782	18
2月14日	預金利子	12		30
3月31日	預金利子（市の歳入へ）		30	0
	合 計	720,030	720,030	

政務調査活動報告書

会派名 大崎ニューネット

1、 調査研修事業

(1) 観察・研修日

平成 22 年 11 月 9 日から 11 月 11 日まで

2、 観察地

(1) 静岡県伊東市、神奈川県小原市

(2) 神奈川県 彫刻の森

(3) 東京都稻城市

3、 観察者名

佐藤 和好 只野 直悦 木村 和彦 佐藤 弘樹

後藤 錦信 氏家 善男 青沼 智雄 三神 祐司

4、 観察・研修内容

(1) 伊東市 病院建設手法について

市立伊東市民病院は国立病院の移譲をうけ、現在公益社団法人地域医療協議会に運営を委託している。今回老朽化・狭隘化した病院を高度化した医療・耐震性の向上を図り新病院建設をすることとなった。診療科目は 17 科、250 床規模とし、平成 20 年から工事着手し、平成 25 年 4 月開院の予定で進められている。

本市でも病院建設議論の最中であり、参考になる事例が数多く見られた

(2) 神奈川県小原市 事業仕分けについて

小原市では平成 21 年 10 月、行政改革の一手法として『行政事業仕分け』が実施された。外部有識者(構想日本)と市民とで構成した「仕分け人」が、市の仕事を外部の目線によって点検し、「不要」「民間が実施」「市で行うが改善が必要」「現行どおり」の 5 つに仕分ける作業を行った。

本市も事業仕分けの議論があり、参考にさせていただいた

(3) 神奈川県彫刻の森 観光施設の充実策

大都市圏を抱える箱根地域は特に努力を重ねなくても、観光客の減少は無いものと考えていた。現地での説明を受けるに、交通のアクセスの良さから、日帰りの観光客の落ち込みは少ないものの、宿泊客は減少の一途であり、歯止めがかからないで、大変苦戦しているとの説明であった。

大崎も日本有数の温泉を抱えており、更なる観光客の誘致に勤めるべきと認識を深めた

(4) 東京都稻城市 ママ保育 地域ブランドの確立

待機児童対策はどこの行政でも抱える重要な問題の一つである。

稻城市は従来の待機児童対策を一步進め「家庭福祉員」保育ママ制度を打ち出した。大崎市でもこの制度について検討を進めていたが、検討で終わっていた。稻城市的子育て支援策は大変手厚い制度であり、人口増加に対応して保育所建設が追いつかない現状での、それに変わる有効な手段と思われた

地域ブランドの確立について

平成 18 年 11 月から地域ブランド「稻城の梨」を特許庁から登録認定を受けた。稻城市的農業生産額 12 億 7 千万円のうち約 6.6% 8 億 4 千万が特産の梨で占められている。都市農業経営は付加価値をつけ消費地に近い特性を生かした農業経営であるが、ブランドの確立も大きな付加価値に繋がっている。いかにブランド力を高めるか、参考になる説明であった

5、議会報告・広報誌の発行

実施日 平成 23 年 1 月 30 日

発行部数 28500 部

事業内容 新聞折込による、議会報告の配布